

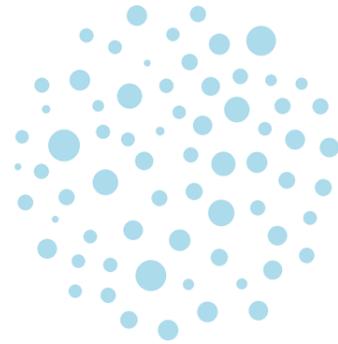
# 文化芸術を<sup>はぐく</sup>育み

## 笑顔咲くまち

～町田で Let's stART～  
レッツスタート

Machida City Plan  
for Cultural and Arts-Based  
Community Development

2026-2035



町田市



町田市文化芸術の  
まちづくり計画(市HP)



テーマソング  
けいたろう「My Town」



町田市文化芸術のまちづくり計画

# Introduction

はじめに



文化芸術は、人の営みの軌跡であり、  
ありのままの自分を表現するための術でもあります。

わたしたちの暮らしに潤いや彩りを添え、  
あるいは、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、  
人と人がつながることや、多様性を認め合うことに加えて、  
支え合いの土壌を育むといった、様々な役割を果たしています。

また、無限に広がるイメージを喚起する創造の糧ともなり、  
生きる力や未来への希望を生む、人間活動そのものともいえます。

このまちでなら

住む人も訪れる人も、文化芸術を自然と感じ、触れられる、  
文化芸術から生まれたつながりの温もりや賑わいを体感できる。

ある人は、これまで抱き続けていた“やってみたい”を叶え、成長していける、  
また、ある人は、ちょっといい街、ちょっといい暮らしを実感し、  
まちへの愛着を抱いて、住み続けたい、あるいは、何度でも訪れたいと思える。

町田市は、多様な主体とともに文化芸術の薫るまちづくりを進め、  
市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちを目指します。

# Contents 目次

section 01	計画策定の背景と目的	6
1	策定の背景（社会状況の変化）	6
2	策定の目的	7
3	計画の策定にあたって	7
section 02	計画の基本的な考え方	8
1	計画の位置づけ	8
2	構成と計画期間	9
3	文化芸術の範囲	9
4	対象	10
5	市の役割	10
6	文化芸術に関わる各関係主体と期待すること	10
section 03	目指す姿	11
	目指す姿が実現したまちのイメージ	12
section 04	町田市の特色と文化芸術の推進経過	14
1	町田市の特色	14
2	近年の文化芸術の推進経過	16
section 05	現状・課題を踏まえた方針と施策	18
section 06	計画体系	20

section 07	文化芸術プロジェクト	22
	まちだ Smile-link project (スマイルリンクプロジェクト)	22
	project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える	24
	project B 文化芸術大型イベントの実現	24
	project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化	25
section 08	方針に基づく施策と取組	26
	プロジェクト／方針・施策・取組一覧	28
	方針1 きっかけをつくる	30
	施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保	31
	施策2 情報環境の拡充	32
	方針2 場をつくる	34
	施策1 施設の整備・活用	35
	施策2 活動の場の充実	36
	方針3 未来につなぐ	38
	施策1 美術品や文化財の保存・活用	39
	施策2 次世代への継承	40
	方針4 共に創る	42
	施策1 市民や団体等のチャレンジの創出	42
	施策2 企業等との共創による推進	42
section 09	計画の推進にあたって	44
1	庁内関係部署との連携・推進	44
2	施策・取組の振り返りと評価	44

# section 01 計画策定の背景と目的

## 1 | 策定の背景(社会状況の変化)

### ●文化芸術と様々な分野との連携が求められています

国は、2017年に文化芸術基本振興法を改正し、「文化芸術基本法」を施行しました。同法においては、文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展、創造に活かせるよう、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を配慮することを求めています。また、こうした動きに伴って、文化芸術と他の関連分野との連携を進める法整備\*も進んでいます。

\*2018年：「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」施行・・・障がい者の文化芸術活動を幅広く促進するための法律  
「文化財保護法」改正・・・地方自治体が主体的に文化財を保護し、観光に活用できるよう改正  
2020年：「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」施行  
・・・文化資源の理解を深める機会を増やし、国内外からの観光客を誘致することで、文化振興、観光振興、地域の活性化という好循環を創出するための法律  
2022年：「博物館法」改正・・・博物館が地域の観光拠点となることを努力義務化。新たな業務としてデジタルアーカイブの構築を加える改正

### ●デジタル技術が浸透し、文化芸術がより身近になっています

美術館・博物館のバーチャルツアーやデジタル展示、オンラインコンサートや演劇が広がり、地域や時間の制約を受けずに誰もが文化芸術に気軽に触れ、楽しめる機会がより一層身近になっています。

一方、アーティストや文化芸術団体等はSNSを通じて作品を広く発信し、ファンやコミュニティを形成しやすくなっています。また文化遺産や歴史的資料、芸術作品のデジタルアーカイブ化が進み、オンラインでの閲覧や活用が可能になるなど、活動や創作物をより広く発信できるようになっています。

### ●体験や特定の時間を重視するような社会に移り変わっています

個人の価値観やライフスタイルが変化し、従来の物を所有する「モノ消費」から、体験やサービスを通じて得られる満足感や感動を求める「コト消費」へとシフトするとともに、旅行やイベントなど、特定の瞬間や限られた時間を特別なものにするような「トキ消費」も重視する社会に移り変わっています。

### ●新たな社会的つながりが生まれています

デジタル社会の進展によって、地域や地理的なつながりを基盤にしてきた、従来の地縁型コミュニティに加えて、共通の興味や趣味、価値観を共有する人々がオンラインやオフラインで集まり、多様な関心に基づいて交流する「テーマ型コミュニティ」といった新しい社会的なつながりが生まれています。

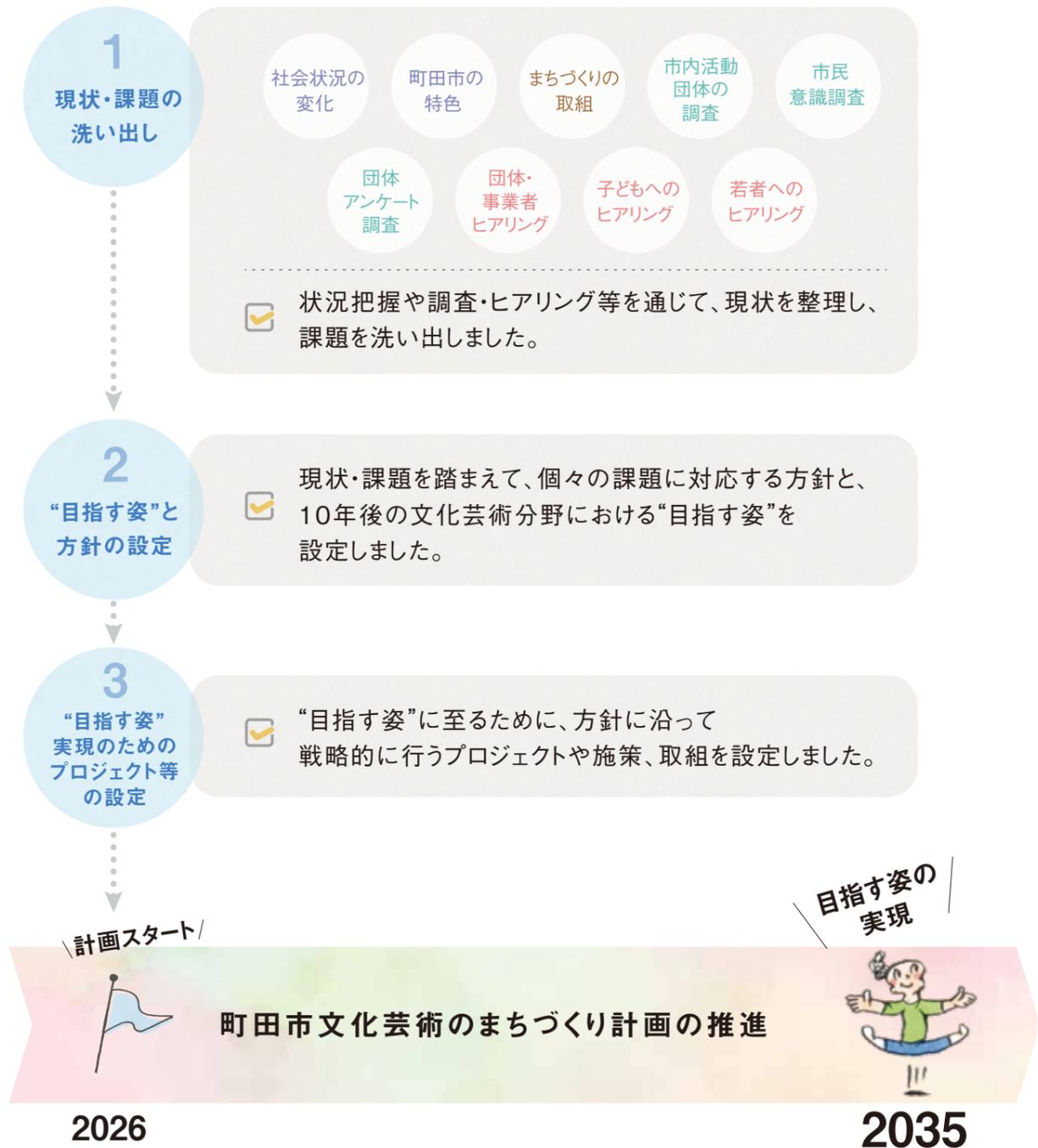
### ●企業の社会貢献活動が活発化しています

SDGs(持続可能な開発目標)やCSR(企業の社会的責任)の意識が高まる中、企業が文化や芸術を支援することで社会貢献を果たす「メセナ活動」が更なる広がりを見せています。こうした活動は、継続的に文化芸術活動を支援することに加え、企業と地域コミュニティとの連携・協力を通じて、持続可能な社会の実現に寄与し、社会と企業の双方にとって有益なものになっています。

## 2 | 策定の目的

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる”なりたいまちの姿”に至るための政策(政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる)の実現に向けて、施策(施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる)を推進するため、観光や福祉、教育その他の各関連分野や、多様な主体との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちの賑わいにつなげていくことを目的として策定します。

## 3 | 計画の策定にあたって



# section 02 計画の基本的な考え方

## 1 | 計画の位置づけ

文化芸術基本法を踏まえるとともに、まちだ未来づくりビジョン2040を実現するため、関連する条例や個別の計画等との連携を図りながら事業を推進します。

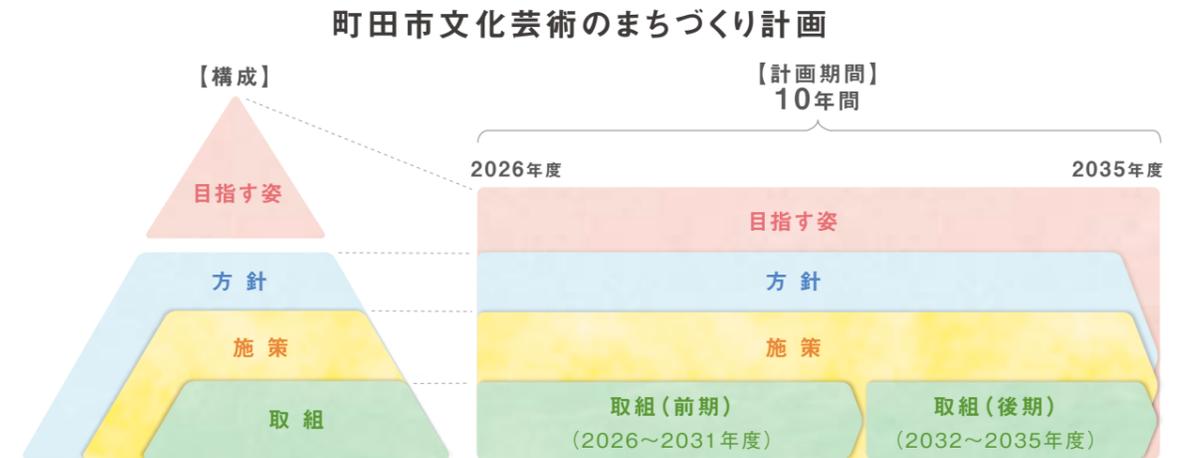
なお、本計画は、文化芸術基本法第7条の2に基づく地方文化芸術推進基本計画として策定します。



## 2 | 構成と計画期間

本計画は、「目指す姿」、「方針」、「施策」、「取組」で構成し、目指す姿の実現に向けて、方針に沿って施策や取組を展開します。

また、計画期間は、2026年度から2035年度までの10年間とします。なお、施策に基づく「取組」については、前期(2026～2031年度)と後期(2032～2035年度)に分け、前期終了時に見直します。



## 3 | 文化芸術の範囲

本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」として、文化芸術基本法に規定されている文化芸術の範囲に加えて、町田ならではのライフスタイルや、まちかどで生まれる新しいアート、デジタルによる新たなカルチャーなど、多様な取組等も積極的に受け入れられるよう、文化芸術を広く捉えます。



## 4 | 対象

町田市民を基本とし、町田市に関わる方や訪れる方も含めた全ての方\*

\* 年齢、国籍の違いや障がい、文化芸術のスキルレベル等に関わらず、全ての方

## 5 | 市の役割

市は“目指す姿”の実現に向けて、文化芸術のまちづくりを計画的に進めるためのプロジェクトや施策を実施します。加えて、市内で行われる文化芸術活動については、次に示す関係主体に加え、町内会・自治会や福祉団体、まちづくり関連団体なども横断的に連携し、活動を支えていくとともに、協力して町田市の文化芸術を発展させていきます。

また、文化芸術に関する情報を一元的に発信し、文化芸術の魅力を市内外に広く伝えていきます。

## 6 | 文化芸術に関わる各関係主体と期待すること

“目指す姿”の実現に向けた文化芸術のまちづくりにあたって、各関係主体が、それぞれの分野を越えて積極的に連携していくことを期待しています。

関係主体	期待すること
文化芸術関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動の積極的な展開・既存の取組の拡充</li> <li>市事業への協力、文化芸術に関わる各種団体との連携・協働 など</li> </ul>
経済関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術事業と中心市街地の再開発事業との連携による賑わいづくり</li> <li>市の集客力アップのための連携・協働(商店会、商業施設などとの調整含む)など</li> </ul>
観光関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術事業と観光事業との連携による賑わいづくり・イメージづくり など</li> </ul>
小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒への文化芸術体験機会や情報の提供</li> <li>児童・生徒の芸術作品展示イベントへの参加</li> <li>文化系部活動の地域連携、アーティストや指導者の活動の受け入れ</li> <li>STEAM教育の一環として、文化芸術を通じて児童・生徒へ問題解決能力、創造力、表現力を培う学びの実施 など</li> </ul>
教育機関 (高等学校・大学等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・学生への文化芸術情報の提供、保有する文化芸術の専門性の提供・連携</li> <li>各地域に根差した文化芸術機会の提供、創出 など</li> </ul>
文化芸術 外郭団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動の展開と市内外への普及</li> <li>市事業実施への協力</li> <li>文化芸術に関わる各種団体との連携・協働の促進</li> <li>アーティストや指導者の紹介 など</li> </ul>
事業者 (企業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動への協力・連携によるまちづくりの後押し</li> <li>まちの賑わい創出による持続可能なまちづくりの推進 など</li> </ul>

# section 03 目指す姿

## 文化芸術を<sup>はぐく</sup>育み 笑顔咲くまち

～町田で Let's stART～  
レッツスタート

目指す姿に込めた想い

### 文化芸術を育み

「育む」の言葉には、文化芸術活動のはじめの一步を踏み出すことや新たに挑戦することで技術的に上達していく、感性を豊かにしていくという意味を込めています。

また、それらに加えて文化芸術に親しむきっかけとなる鑑賞の機会や活動をはじめやすい環境を整える意味のほか、これまで形作ってきた文化芸術を未来に継承していってほしいといった想いも含んでいます。

### 笑顔咲くまち

「素晴らしい作品に出会ったとき」、「できなかったことができるようになったとき」、「作品制作や練習の成果が形になるとき」、私たちは、活力や充実感、達成感を得ます。そして、その先には、一人ひとりの素敵な“笑顔”が花開き、広がっていきます。

本計画を着実に進めていくことで、10年後の町田市では、市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちをつかっていくという想いを込めています。

副題

町田で Let's stART  
レッツスタート

文化芸術の鑑賞や活動にあたり、思い立ったタイミングが絶好のはじめ時です。文化芸術を鑑賞したい人、活動したい人など、誰もが町田で文化芸術に触れ、スタートを踏み出せるよう、そして、文化芸術の土壌を育ていけるよう、目指す姿の副題を～町田でLet's stART～と定めます。

# 目指す姿が実現した まちのイメージ



# section 04 町田市の特色と文化芸術の推進経過

町田市の立地やまちづくりの動き、特徴的な施設などの優位性と、市のこれまでの文化芸術の推進経過を踏まえたうえで計画を策定するとともに、これからの文化芸術のまちづくりに活かしていくため、主な特色と近年の取組を示しています。

## 1 | 町田市の特色

### 文化芸術に親しみ・学び・活動できる環境が整っています



町田駅周辺には都会的な賑わいがあるが、北部には豊かな自然環境が広がっており、都市と緑のバランスがちょうどいいまちです。加えて、市域の外縁にはJR横浜線や小田急線、東急田園都市線、京王相模原線の4路線が通り、首都圏の文

化芸術の集積地である東京都心や横浜とは、いずれも30分程度で結ばれ、交通利便性の高い立地が特徴です。また、市内や近郊には、芸術系の大学や学部、専門学校が多く集まり、文化芸術に親しみ・学び・活動できる環境が整っています。

Check!



町田市HP  
シティプロモーション  
"まちだってこんなまち"

### 一人ひとりが輝けるまちづくりを進めています

2022年にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」では、誰もが夢を持ち、幸せを感じられるような未来をつくるため、ライフステージに応じて活躍できるまちづくりを進めています。また、「町田市性の多様性の尊重に関する条例(2023年度)」や「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例(2024年度)」を施行し、一人ひとりが輝けるまちの実現を目指しています。



町田市HP  
"まちだ未来づくり  
ビジョン2040"

Check!



町田市HP  
"性の多様性の尊重  
に関する条例"



町田市HP  
"障がい者差別をなくし  
誰もがともに生きる  
社会づくり条例"

### 子どもにやさしいまちづくりを進めています

ユニセフが主唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体(全国6自治体のうちの1市)として承認を受けています。近年は、これまでの「子どもにやさしいまちづくり」が実を結び、0~14歳の年少人口の転入超過数が全国トップを維持し続けており、多くの子育て家庭に選ばれています。さらに、2024年度には「子どもにやさしいまち条例」を施行し、子どもの参画等も積極的に進めています。

Check!



町田市HP  
"子どもにやさしい  
まち条例"



### 特徴的な文化芸術関連施設があります

町田駅近くの町田市民文学館ことばらんどでは、J-POPやマンガ、タイポグラフィ等、近代文学の範囲を超えた挑戦的な企画を多数実施しており、高い評価を得ています。また、芹ヶ谷公園には国内唯一、世界でも珍しい版画をテーマとした町田市立国際版画美術館があり、歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが3万点以上収蔵されています。さらに、同公園で整備を進めている(仮称)国際工芸美術館



は、美術品の魅力を広く伝えるとともに、美術活動をより身近に感じられる空間や、多様な創作活動が行える場として、版画美術館等と一体的な連携を図り、市民がいつでも自由に利用でき、鑑賞や創作・発表などの活動ができる開かれた美術館としていきます。

Check!



町田市HP  
"町田市民文学館"



国際版画美術館  
HP



町田市HP  
"(仮称)国際工芸  
美術館整備"

### 町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっています

1970年代から80年代の大規模再開発から約50年が経過し、町田駅周辺は街のリニューアルの時期を迎えており、再開発の検討が進んでいます。

「町田市都市集客機能整備方針(2024年度策定)」では、都市の集客機能を高めるため、ポップス系コンサートの貸館需要が見込める2,000人前後の音楽・演劇ホールを整備する方向性を示しています。また、「町田駅周辺開発推進計画(2024年度策定)」に基づいて、駅周辺の新たな賑わいづくりの核となる機能のイメージとして、目的地となるような魅力的なコンテンツを提供するエンタメ施設導入の検討が進んでいます。

Check!



町田市HP  
"町田市都市集客機能  
整備方針"



町田市HP  
"町田駅周辺開発  
推進計画"

### 公共施設の複合化・多機能化等によって市民生活の質を高めようとしています

市内の多くの公共施設が整備から40年以上経過し、更新の時期を迎えています。多額の維持管理費の確保が課題となる中、将来にわたって必要な公共サービスを維持・向上させていくため、施設の複合化や多機能化、民間との連携強化、建物の長寿命化などを通じて、維持管理費の削減を進めるとともに、サービス水準を向上していくことで、市民生活の質を高める取組を進めています。

Check!



町田市HP  
"公共施設マネジメント  
に関する取り組み"



2017

「文化芸術ホール  
整備に向けた基本的な考え方」  
策定

2014年度に実施した「文化芸術によるまちづくり座談会」における文化芸術ホールの建設に向けた検討を踏まえ、町田市のまちづくり及び文化政策の視点から、文化芸術ホールのあるべき姿を整理するために策定

「町田市文化プログラム推進計画」  
策定（～2021年度）

町田市の文化の推進と、町田市らしい個性あふれる都市の発展に向け、将来像「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」を目指すために策定



2019

「芹ヶ谷公園“芸術の杜”  
コンセプトブック」策定

芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館の一体的な整備に向けて、具体的な整備内容の検討を進めるための芹ヶ谷公園“芸術の杜”のビジョンや、全体デザインの考え方などをまとめたコンセプトを作成。



2020

2018

「町田市文化プログラム実行計画」  
策定（～2021年度）

「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち」を目指すため、2018年～2021年度まで町田市文化プログラムを実施

「まちだ〇ごと大作戦18-20<sup>+1</sup>」実施

2018年の市制60周年、2019ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピックまで、市民や地域団体が自ら「やってみたい夢」の実現を目指し、市民の愛着・誇り、市外からの関心・憧れを高める事業を実施。市民主体の多くの文化芸術活動が実現。

2021

「まちだ未来づくりビジョン  
2040」策定

なりたいまちの姿に至るための政策の1つに「ありのまま自分を表現できるまちになる」を掲げ、実現に向けて「文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる」施策を示して、「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」を目指す



2023

「まちだ若者大作戦」  
の実施

「子どもにやさしいまち条例」の機運醸成のため、子どもや若者の“やりたいこと”を叶える事業を実施。薬師池公園四季彩の杜西園にステージを設置し、野外音楽ライブを行う文化芸術イベント「Music at 四季彩の杜西園(『MUSICA(ムジカ)』)」が実現



2022



2024

「町田市都市集客機能  
整備方針」策定

選ばれる都市であり続けるよう、新たに音楽・演劇ホール整備の方針を示すなど、今ある町田らしい資源を活かしつつ官民が連携しながら、更に多様な魅力を持つまちへの転換を図るために策定。

「子どもにやさしいまち条例」施行

子どもたちが様々な文化芸術に触れる権利の保障を規定

「町田市障がい者差別をなくし  
誰もがともに生きる社会づくり条例」施行

文化芸術の分野における障がい者への合理的な配慮を行うことを規定

# section 05 現状・課題を踏まえた方針と施策

社会状況の変化や町田市の特色、意識調査やヒアリング等を通じて、現状を把握・整理し、課題を洗い出しました。そして、課題解決に向けた文化芸術のまちづくりの方向性として「ポイント1～5」を整理しました。

また、目指す姿「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」を実現するために、どのようなまちづくりが必要かを検討し、4つの方針と各方針に2つの施策を設定しました。

## 社会状況の変化

文化芸術と様々な分野との連携が求められている。

デジタル技術が浸透し、文化芸術がより身近になっている。

文化芸術を発信するチャンスが訪れている。

体験や特定の時間を重視する社会に移り変わっている。

テーマ型コミュニティといった新たな社会的つながりが生まれている。

企業の社会貢献活動が活発化している。

## 町田市の特色

文化芸術に親しみ・学び・活動できる環境が揃っている。

一人ひとりが輝けるまちづくりを進めている。

子どもにやさしいまちづくりを進めている。

特徴的な文化芸術関連施設がある。

町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっている。

公共施設を複合化・多機能化等して市民生活の質を高めようとしている。

### 現状、意識調査・アンケート、みなさんの想い

現状	小規模のホールが充実している／全国レベルの演技や演奏が身近にある
意識調査・アンケート	文化芸術を鑑賞する人の割合が低い／文化芸術活動団体への新規加入者が少ない／子どもへの文化芸術体験が重要視されている
みなさんの想い	演劇表現活動に触れる機会を増やして文化芸術の町田に／活動を発表する機会を／若者に芸術文化の鑑賞と体験を／障がい者の文化芸術展示会があるといい
現状	日本有数の美術品を保有している／民間の文化芸術活動が盛んで、多様に展開されている
意識調査・アンケート	文化芸術活動や資源の魅力がうまく伝わっていない／文化芸術分野においてデジタル技術を使った魅力発信が欠けない／他の分野や地域・学校と連携した活動が少ない
みなさんの想い	文化芸術面の「町田らしさ」をもっと広報してほしい／版画美術館や文学館、生涯学習センターは他市より優れている／子どもが体験できるようなイベントがほしい
現状	子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている／文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホールの老朽化／ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている
意識調査・アンケート	市民の文化芸術活動が活発に行われている／町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている
みなさんの想い	文化芸術のシンボルとなり、皆が憧れる多目的ホールがほしい／練習や制作する場がほしい／ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がる
現状	他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを収蔵している／(仮称)国際工芸美術館の整備を進めている／貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている／無形民俗文化財の担い手が不足している
みなさんの想い	伝統芸能を継承するには、小・中学生への教育が必要／文化財について学校では習っていないので興味がある
現状	市民が主体的に活動できる土壌が整っている／文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している／若手アーティスト等が育つ環境がある
みなさんの想い	市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい／多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい

### 課題

誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、鑑賞や体験の機会を広げる必要があります。

町田市の文化芸術の認知度を上げ、最大限に活用していく必要があります。

町田駅周辺の中心市街地再開発等を踏まえ、文化芸術を鑑賞する場や市民が活動する場を整備する必要があります。

市が誇る美術品や史跡、建造物、民俗芸能等の有形・無形文化財を適切に収集・保存し、次世代に継承していく必要があります。

文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、多様な人や団体等と連携していく必要があります。

### ポイント

1 誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

2 町田市の文化芸術のイメージを強化していく

3 文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

4 美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

5 文化芸術を支える多様な団体・市民等と連携していく

## 方針 1 きっかけをつくる

- 施策 1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保
- 施策 2 情報環境の拡充



## 方針 2 場をつくる

- 施策 1 施設の整備・活用
- 施策 2 活動の場の充実



## 方針 3 未来につなぐ

- 施策 1 美術品や文化財の保存・活用
- 施策 2 次世代への継承



## 方針 4 共に創る

- 施策 1 市民や団体等のチャレンジの創出
- 施策 2 企業等との共創による推進



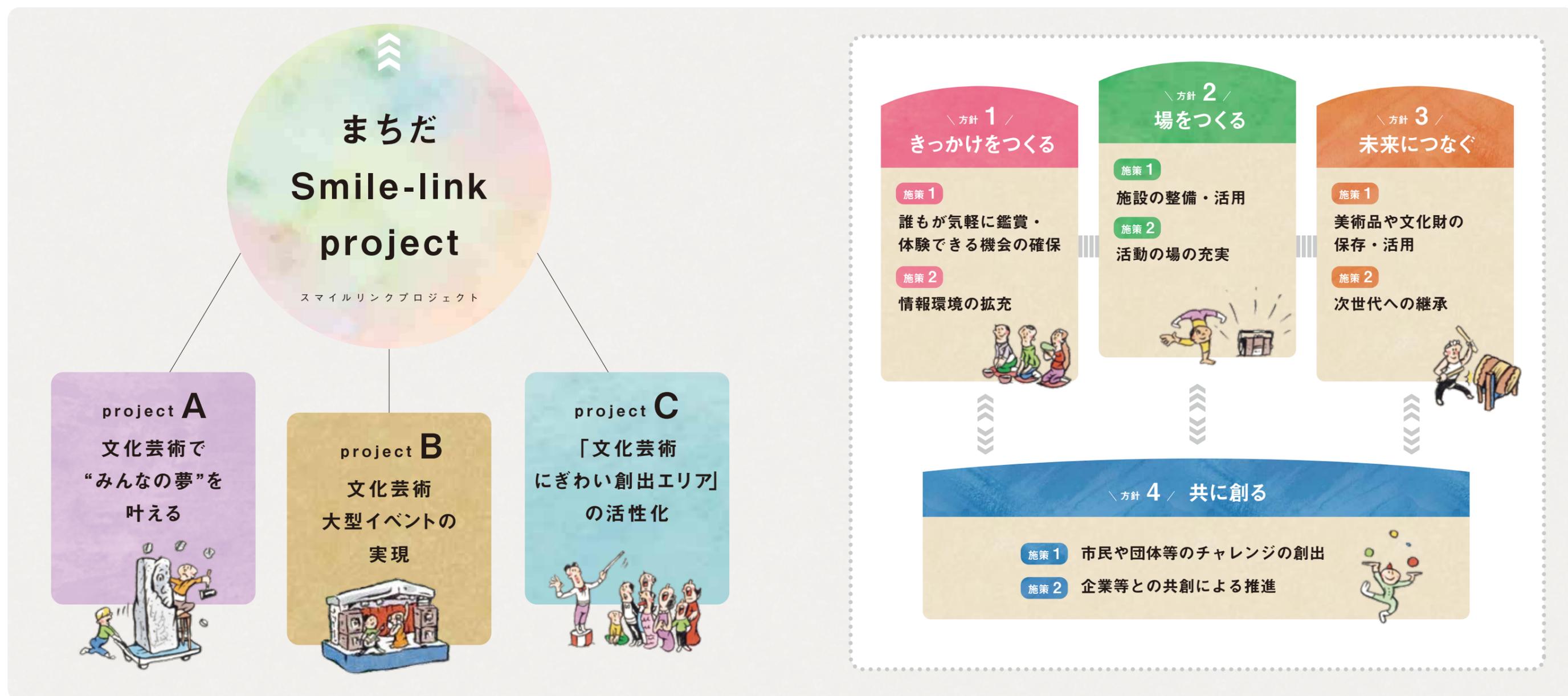
# 文化芸術を<sup>はぐく</sup>育み 笑顔咲くまち

～町田で Let's stART～  
レッツスタート

方針1～3に沿って、市が主体となり各施策を着実に進めるとともに、  
方針4を文化芸術のまちづくりを動かす推進力として位置づけ、  
市民や団体等のチャレンジを生み出し、多様な主体との共創を加速させます。

こうした取組により、市民や団体、企業等とともに目指す姿を実現し、  
文化芸術のまちを築いていきます。

さらに、方針1～4を横断する文化芸術プロジェクト  
「まちだSmile-link project(スマイルリンク プロジェクト)」を立ち上げ、  
文化芸術のまちづくりを力強く前進させます。



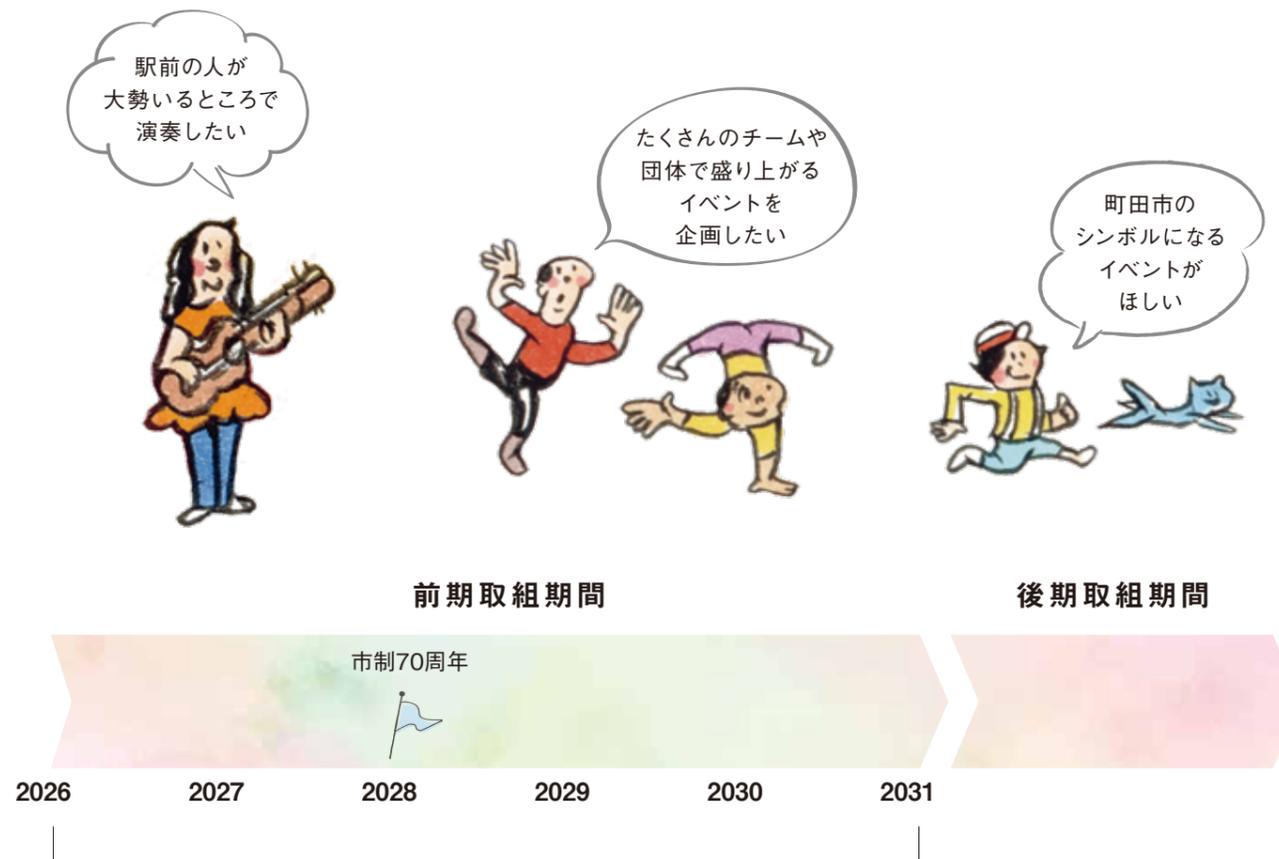
まちだ  
Smile-link  
project

スマイルリンクプロジェクト

「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田でLet's stART～」の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、前期の事業期間となる2031年度までを、“文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育む6か年”と位置付けます。

そして、方針を横断したプロジェクト総称を「まちだSmile-link project(スマイルリンクプロジェクト)」と定めて、A～Cの3つのプロジェクトを実行し、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくっていきます。

また、実行にあたっては、リアルな体験はもちろん、デジタルの要素も活用し、融合させながら展開していきます。



“文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育む6か年”

project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える



project B 文化芸術大型イベントの実現



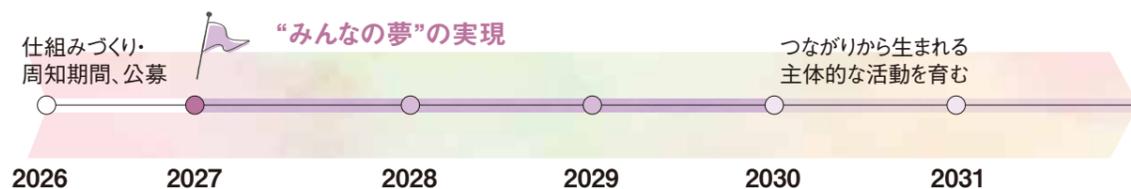
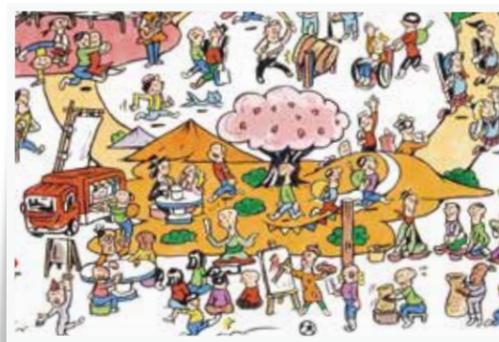
project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化



## project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える

まちだ〇ごと大作戦18-20<sup>+</sup>1やまちだ若者大作戦など、市民主体のまちづくりの経験を存分に活かし、来たる2028年の市制70周年の節目を、文化芸術でまちが一つになる好機と捉え、文化芸術で“みんなの夢”を叶えるプロジェクトを実施します。

異なる分野の多様な主体がコラボレーションし、文化芸術を通じたまちづくりを前提として、みなさんの夢（やりたいこと）を叶える仕組みを整え、実行することで、新たなコミュニティを形成し未来につながる活動を育んでいきます。



## project B 文化芸術大型イベントの実現

地域や民間事業者等とコラボレーションし、町田市を象徴する大型イベントを実施します。そのことで、まちの一体感を育み、イベントに関わる人、参加する人たちと喜びや感動を共有するとともに、憧れや関心を集めて、新たなチャレンジやRe:スタートを踏み出すきっかけをつくります。



## project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

「町田市中心市街地まちづくり計画」では、町田駅周辺の中心市街地における賑わいの創出に向けて、文化芸術を欠かせない要素として位置付けています。この方針を踏まえ、本計画では、町田駅周辺の再開発を見据えるとともに、文化芸術活動や関連施設が集積し、多様に展開されているこの地域の賑わいを更に活性化させるため、「町田市中心市街地まちづくり計画」の対象範囲を“文化芸術にぎわい創出エリア”と定めます。

また、再開発エリアにおいては、映画館の誘致や音楽・演劇ホールを導入を目指すとともに、公共空間における音楽や文化芸術活動の実施など、活動や鑑賞の場を整備することで、本エリアを拠点として市民の文化芸術活動や鑑賞の機会を広げ、市外からの来訪も促進し、市域全体へと賑わいを波及させていきます。



# section 08 方針に基づく施策と取組

市は、方針1～4を横断して実施する「まちだSmile-link project(スマイルリンクプロジェクト)」に加え、方針1～3に沿って施策ごとに取組を設定します。そして、それらを期間内に事業化し、実施することで、10年後に花開き「町田の特色」と言えるような文化芸術の種を育てていきます。

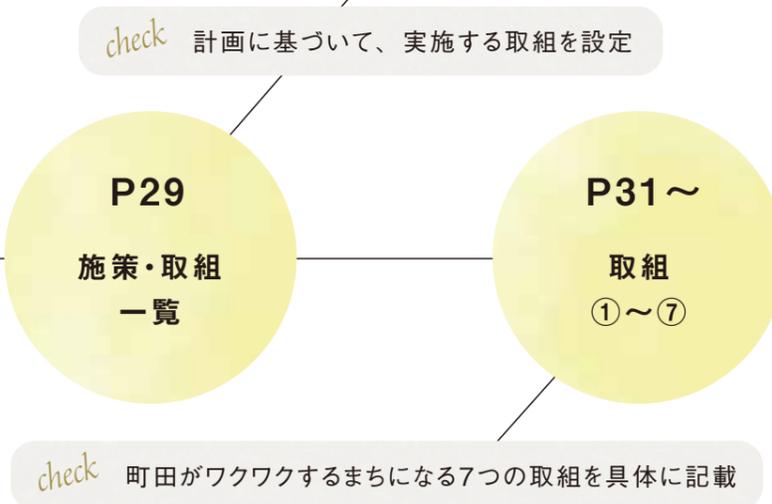
なお、取組の実施にあたっては、方針4に基づいて、多様な主体との共創やチャレンジを創出する視点を取り入れ、充実を図ります。



文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育むため、**方針1～4を横断し実施する**重点プロジェクト



プロジェクトに加えて、各方針・施策に沿って実施する取組です。施策ごとに1～2つの取組を設定しており、期間内(前期:2026～2031年度)に事業化し、実施することを目指します。



「方針4 共に創る」で方針1～3の取組に多様な主体のチャレンジやコラボを促して充実させます

**町田 Let's stART**  
「方針4 共に創る」視点の「方針1の行動例」

チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- これまで行ったことのないイベントに参加してみる
- 新しい文化芸術活動をはじめ始める
- 友だちを誘ってイベントに参加してみる
- イベント情報やアーティストの活動をSNSで発信してみる
- 市や企業に思い切ってイベント提案してみる



## “創造力は無限大”

みなさんなら何ができるか一緒に考え、町田の文化芸術を育てていきましょう



**施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保**

**取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します**

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを開催します。そして、様々な人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめの一歩となるきっかけをつくります。

**事業例**

**大成功を取った実証事業**

2025年5月に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル リトルプリンス」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、座席自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演(インクルーシブ公演)を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。

**関連事業**

文化芸術プロモーション・文化芸術に関するメディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、Instagramで文化芸術イベント等を発信しています。また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広いメディアに取り上げてもらえるようPRしています。

check 現在実施している事業を関連事業として方針・施策ごとに整理しています

# プロジェクト／方針・施策・取組一覧



## 方針 1 / きっかけをつくる

### 施策 1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します  
[文化芸術イベントの開催]

### 施策 2 情報環境の拡充

取組② 文化芸術情報を手軽に入手できるようにします  
[文化芸術情報の集約化・魅力発信]

## 方針 2 / 場をつくる

### 施策 1 施設の整備・活用

取組③ 新たなホールの整備を進めます [音楽・演劇ホールの整備]  
取組④ 練習の場・制作の場を増やします [練習・制作の場の創出]

### 施策 2 情報環境の拡充

取組⑤ 公共空間等を発表の場にします  
[アーティストの活動フィールド創出・拡充]

## 方針 3 / 未来につなぐ

### 施策 1 美術品や文化財の保存・活用

取組⑥ デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝えていきます  
[デジタルミュージアムの推進・活用]

### 施策 2 次世代への継承

取組⑦ 子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やします  
[体験型ワークショップ等の開催]

## 方針 4 / 共に創る

### 施策 1 市民や団体等のチャレンジの創出

### 施策 2 企業等との共創による推進

「方針 4 共に創る」に基づくコラボレーションやチャレンジの視点（行動例）

# 方針 1 / きっかけをつくる

多様な背景や個性を持つ人々など、誰もが文化芸術活動をスタートしやすくなるよう、鑑賞や体験ができる環境を整えるとともに、そのきっかけとなる情報発信を積極的・効果的に行うことで、文化芸術が身近にある暮らしを実現します。

指標 市内で文化芸術活動・鑑賞する機会を持つことができた市民の割合



誰もが文化芸術を身近に感じることができるイベントを開催することや、情報を市内外の方々が手軽に入手できるようにすることで、文化芸術活動のきっかけをつくるとともに、鑑賞する機会をつくっていきます。

## 方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



## 施策 1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

### 取組① 文化芸術を身近に感じるイベントを開催します

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを開催します。そして、様々な人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめの一步となるきっかけをつくります。

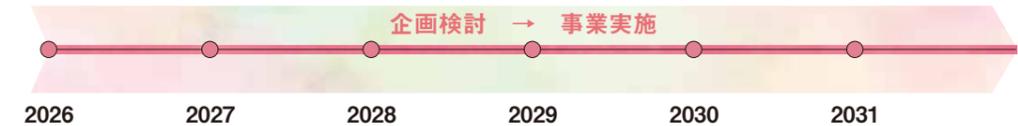
#### 事業例

#### 大成功を収めた実証事業

2025年5月に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル リトルプリンス」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、離席自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演（インクルーシブ公演）を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。



#### 文化芸術イベントの開催



#### 関連事業

#### 芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進イベント

芹ヶ谷公園“芸術の杜”の再整備に向けて、多様な文化芸術活動や芹ヶ谷公園の豊かな自然に触れ、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指して、市民参加型のイベント（Future Park Lab（フューチャーパークラボ）など）を実施しています。

#### 地産地SHOW

町田市ゆかりのアーティストの活動支援を行うとともに、多くの方々が、気軽に文化芸術に触れられるイベントを実施しています。

#### ふれあい落語・コンサート

市内の市民センターを利用して、文化芸術に気軽に触れられるきっかけづくりとして、落語やコンサートを実施しています。

施策 2 情報環境の拡充

取組② 文化芸術情報を手軽に入手できるようにします

市内の文化芸術イベントや、活動団体、地元アーティストの活動等の情報を、市内外の多くの方が手軽に入手できるようにし、その魅力を知っていただくことで、市の文化芸術のイメージを強化します。

事業例

「文化芸術情報の集約化・魅力発信」

市内で開催されるイベントや展覧会の情報、アーティストや関連団体のSNSなどの情報を集約し、効果的に発信していきます。また、例えば演劇ウィークや映画の日などのテーマ性を持たせた期間を設定することで、市民の文化芸術への関心を高めるとともに、シティプロモーションやシティセールスの観点からも、関係部門との連携を強化し、地域全体で文化芸術を盛り上げていきます。



文化芸術情報の集約化・魅力発信



関連事業

文化芸術プロモーション・文化芸術に関するメディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、Instagramで文化芸術イベント等を発信しています。

また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広いメディアに取り上げてもらえるようPRしています。

町田で Let's stART

「方針4 共に創る」視点の「方針1の行動例」

チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- これまで行ったことのないイベントに参加してみる
- 新しい文化芸術活動をはじめしてみる
- 友だちを誘ってイベントに参加してみる
- イベント情報やアーティストの活動をSNSで発信してみる
- 市や企業に思い切ってイベント提案をしてみる

Pick up

水曜午後の音楽会

和光大学ポプリホール鶴川で開催されている「水曜午後の音楽会」は、若手演奏家の登竜門として親しまれているクラシック音楽イベントです。開催は100回を超え、2025年9月に開催された第106回では、弦楽四重奏団「Quartet Volatus (カルテット ヴォラトゥス)」の大学生4名が出演し、表現豊かな演奏で観客を魅了しました。

午後のひととき、気軽に本格的な演奏を楽しめるこの音楽会は、地域住民にとって文化的な癒しの場となっています。入場料も手頃で、音楽ファンだけでなく、初めてクラシックに触れる方にもおすすめです。



Pick up

まちだアーティストバンク

「まちだアーティストバンク」は、市内や市にゆかりのある文化芸術活動者を支援する登録制度です。音楽、演劇、伝統芸能、生活文化など幅広いジャンルのアーティストが登録されており、イベント主催者や市民が出演者を探す際に活用できます。登録されたアーティストは市民ホールのホームページに掲載され、活動の場を広げるチャンスが得られるとともに、地域の文化振興に貢献する機会を得ることができます。



# 方針 2 / 場をつくる

町田市の立地や自然を活かした文化芸術の活動・鑑賞の場をつくとともに、  
基盤となる拠点を整備・活用していきます。

指標 文化芸術に触れる環境等に満足している市民の割合



公共施設をはじめ、民間施設や公共空間において文化芸術活動が行える新たなフィールドを増やしていくことや、芹ヶ谷公園「芸術の杜」「美術エリア」を整備することで、活動側も鑑賞側も更に満足できる環境を整えていきます。

## 方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



## 施策 1 施設の整備・活用

### 取組③ 新たなホールの整備を進めます

町田駅周辺では、民間事業者による再開発の機運が高まる中、映画館や音楽・演劇ホールなどの新たな都市機能を導入することで、エンターテインメントによる「誰かと一緒に楽しめるまちづくり」が進んでいます。

これまで整備を目指してきた文化芸術ホールについては、「文化芸術ホール整備に向けた基本的な考え方(2017年度策定)」に示した要素を踏まえながら、エンタメ施設としての音楽・演劇ホールとして整備を進めていくことで、国内外の人気アーティストの音楽や演劇を鑑賞する場をつくり、文化芸術の振興を図っていきます。



### 取組④ 練習の場・制作の場を増やします

文化芸術活動のための新たな練習の場や制作の場を増やすため、公共施設等を活用できるようにします。



### 関連事業

#### 芹ヶ谷公園「芸術の杜」「美術エリア」の整備

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、美術館にとどまらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている「芸術の杜」ならではの美術館等を整備しています。

#### 地域センター諸室の貸出

市民活動や文化活動のため、市民センター・コミュニティセンターのホールや音楽室、会議室等の諸室を貸し出しています。

施策 2 活動の場の充実

取組⑤ 公共空間等を発表の場にします

公共空間等において、アマチュアからプロまで幅広い表現者(アーティスト)が発表できる場を創出することで、創造性を高めるとともに、市民が日常生活の中で自然に文化芸術に触れ、賑わいを感じられるまちづくりを推進します。

事業例

アーティストの活動フィールド創出・拡充

道路空間やみどり空間等において、音楽活動やストリートパフォーマンス、アート活動、作品展示など、まちなかの様々な場所をアーティストの活動フィールドとしていくことで、アーティストの可能性を広げていきます。

アーティストの活動フィールド創出・拡充



関連事業

みんな笑顔の  
展覧会

市内の障がい福祉施設には、生活指導の活動取組から、様々な工作作品を作成している事業所が多くあります。利用者が制作する作品類を集めて、市役所のイベントスタジオにて展示し、同施設の魅力を周知、PRしています。

活動成果、  
演芸・作品発表会

生涯学習センターでは、センターで活動するサークルや団体の日頃の活動成果を発表する生涯学習センターまつりを実施しています。また、ふれあい館では、利用者による演芸や作品発表、盆踊りを実施しています。

小・中学校連合音楽会、  
連合演劇発表会

市立の小・中学校が合同で、合唱・吹奏楽・演劇などの発表を町田市民ホールで行っています。

チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- ☑ お気に入りの活動場所をシェアして賑やかにしてみる
- ☑ 新しいホールの舞台に立てる一流アーティストを目指してみる
- ☑ 文化芸術活動の場として店舗等の場を提供してみる
- ☑ コミュニティアートを活用したまちづくりを実践してみる
- ☑ 公共空間のアートで多くの人を癒してみる

町田 Let's stART

「方針 4 共に創る」視点の  
「方針 2 の行動例」

Pick up

芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備 ~いつものお散歩コースが、より楽しくなるのよね~

秋のイベント「Future Park Lab」の準備で、木々に動物アートのバナーを掛けていると、通りがかった方が声をかけてくれた。何年も続けてきたからこそ、「今年も楽しみにしていた」と言っていたのだろう。以前には「小さい子どもを連れて美術館には入りづらいけれど、外でゆっくり絵を見られるのは本当に素敵。好きな鑑賞を続けられる」との言葉もいただいた。感謝や感動を伝えてくださる瞬間は、いつも胸が熱くなる。



芹ヶ谷公園は、「公園がまるでミュージアムのように」「自然とアートを学び楽しめる」ことを目指している。共感してくれる市民やアーティストとともに、訪れた人が楽しみ尽くせるイベントやワークショップ等を実施している。夏には木々の間に白いスクリーンを張り、

インドネシアの影絵・ワヤンクリットを上演。個性豊かなキャラクター「サルの子シオカ」「カエルのヤマダ」と、子どもたちが創作した影絵が物語を盛り上げる。



また、市内のモニュメントをモチーフにした屋外漫画展示では、普段見慣れた風景が「アート」として再発見され、展示後に実際のモニュメントを巡る人の姿もあった。

芹ヶ谷公園で生まれる“Made in Serigaya”の感動が、これからも訪れる人の心に息づく文化となることを願っている。

Pick up

町田市民文化祭



町田市民文化祭は、市民が主役となって文化芸術を「見て・聴いて・参加」できる、町田市最大級の文化イベントです。毎年秋に開催される「秋の催し」では、舞台・展示・文芸の3部門が一室に会し、町田市民ホールやまほろ座 MACHIDAを会場に多彩なプログラムが展開されます。

2025年第47回のテーマは「かがやく未来へ」。市内外から訪れる人々が、文化を通じて未来への希望を感じられる場となっています。入場は無料で、誰でも気軽に楽しめるのが魅力です。市民の創造力と地域の文化力が結集するこの祭典は、町田の魅力を発言する重要な機会となっています。

市の貴重な資産であり、歴史を物語る美術品や文化財を保存・活用します。  
また、文化芸術活動が続けられてきた土壌を守り、  
文化芸術を担う人財のもつ技術や想いを次世代につなげていきます。

指標 文化財、遺跡、歴史的な街並み、伝統芸能等の継承と保存が大切にされていると思う市民の割合



市が誇る美術品や文化財をデジタルアーカイブ化し、現在の保存・活用状況を見て、知って興味を持ってもらうことや、実際に文化芸術を「する」体験を増やすことで、未来に残していく大切さを学び、継承と保存を進めていきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ  
いいこと



施策 1 美術品や文化財の保存・活用

取組⑥ デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝えていきます

市が誇る美術品や考古・歴史・民俗資料等を適切に保存するとともに、デジタルアーカイブ化して活用することで、その魅力や町田の歴史に興味を持ってもらい、未来に残していきます。

実施例

デジタルミュージアムの推進・活用

市が収蔵する日本有数の美術品をデジタルアーカイブ化し、市内外の方々に知ってもらい、魅力を伝えることで、実際に見て、楽しんでいただけるような仕掛けを展開していきます。また、現在公開している考古・民族・歴史資料等の町田デジタルミュージアムを、学校教育やイベント等に活かし、歴史や文化への理解を深めることで、次の世代につなげていきます。



～まちだ縄文キャラクター「まっくう」～

デジタルミュージアムの推進・活用



関連事業

美術・工芸の魅力を伝える  
展示の実施

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアン・グラスなどの工芸品を展示しています。

また、国際版画美術館では、企画・特集展示として、講演会、ギャラリートーク、鑑賞イベント、製作を伴うイベントやコンサートなど、通年で美術や工芸の魅力を伝えています。

文化財、歴史資料の  
デジタル公開

町田市が収蔵する 2,000 点以上の考古、歴史、民俗資料をインターネット上で閲覧できるサービス「町田デジタルミュージアム」を公開し、いつでも、どこでも町田の歴史を楽しめる環境を提供しています。

市域資源を  
活かした展示

本物に触れることができるよう、自由民権資料館や考古資料室、三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室、本町田遺跡公園ガイダンスルームにて、土器や古文書、民具などの資源を活用した展示を実施しています。

## 施策 2 次世代への継承

### 取組⑦ 子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やします

アーティストとの共演や共作、伝統文化等の体験を通じて、未来に歴史や技術等を受け継いでいけるよう、文化芸術を「する」体験の機会を提供していきます。

#### 事業例

#### 体験型ワークショップ等の開催

子どもたちとアーティストとの共演や共作等が行える体験型のワークショップを開催し、市内で育まれてきた歴史やアーティストが研鑽してきた技術等を学び、受け継いでいきます。加えて、STEAM教育を推進する学校等で町田の文化芸術、ひいては日本文化芸術の品質や美意識の高さを学ぶ機会を設け、問題解決能力や創造力、表現力を培うことを通じて、伝統文化等の伝承につなげていきます。



#### 体験型ワークショップ等の開催



#### 関連事業

#### 工芸制作プログラム

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施しています。

#### 子どもたちの体験学習

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術体験や、講師から話を聞く機会を各学校で実施することで、未来につなげています。

### 町田 Let's stART

#### 「方針 4 共に創る」視点の「方針 3 の行動例」

#### チャレンジやコラボで文化芸術を育む

- デジタルアーカイブや実際に見て、知って、文化財の保存方法について学んでみる
- 市外や外国の方々に町田の特色ある美術品や文化財を紹介してみる
- 学校の授業のテーマとして取り入れてみる
- 伝統文化等を子どもや若者たちに幅広く教えてみる

## Pick up

### 鶴川ショートムービーコンテスト

鶴川地域で開催される「鶴川ショートムービーコンテスト」は、地域発の映像文化を育てるユニークな取組です。15分以内のショートムービーを対象に、ジャンルやテーマは自由。プロ・アマ問わず、誰でも応募できる開かれたコンテストで、映像を通じて「伝えたいこと」を形にする場として注目されています。



2025年で10回目を迎え、全国から130本以上の応募がありました。グランプリには賞金が授与されるほか、町田市長賞やU-18賞など、幅広い世代に向けた部門も設けられています。

入選作品は11月に和光大学ポブリホール鶴川で上映され、観客投票によって「観客賞」も決定されました。映像制作を通じて地域の魅力や人材を再発見し、若手クリエイターの挑戦を応援するとともに、鶴川から全国へ、映像の力で人と人をつなぐ文化イベントとして、町田市の文化振興に大きく貢献しています。

<http://www.tsurukawa-smc.com/>

## Pick up

### 小学生向け特撮怪獣映画ワークショップ



「小学生向け特撮怪獣映画ワークショップ」は、日本の映像文化を未来へつなぐ取組です。

3日から4日間でストーリー作りや怪獣の造形、ミニチュアセット制作、撮影、編集までを子どもたちが体験し、指導するのは第一線で活躍するプロのクリエイター。

大人の技術と知識が次世代へ受け継がれる瞬間は、創造力を育む文化的な営みです。スクリーン

の裏側にある工夫を知ることによって、子どもたちは「つくる楽しさ」と「表現する力」を身につけます。町田から新しい才能が芽生え、日本の特撮文化を未来へつなぐことが期待できる取組です。

若者や市民、文化芸術関係団体、大学や企業等と共に、文化芸術を創作する機会やチャレンジできる場をつくり、エンターテインメントの要素を取り入れたまちをつくります。

施策1 市民や団体等のチャレンジの創出

施策2 企業等との共創による推進

▶ “チャレンジ” や “コラボレーション(共創)” の視点で、方針1～3の充実を図ります

指標

文化芸術活動にあたり、他分野の団体や企業、大学等と連携した活動に取り組んでいる市民の割合



市民や団体等のチャレンジ、大学や企業等とコラボレーションできる機会・場を増やしていくことで、文化芸術活動にあたって他分野との連携を促していきます。

方針に沿ったまちづくりでふくらむ いいこと



Pick up

市民協働フェスティバル「まちカフェ！」



毎年秋に開催される「まちカフェ！」は、市内最大級の市民協働イベントです。

町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体、事業者が一堂に会し、展示やワークショップ、ステージ発表などを通じて、日頃の成果発表や交流を深めています。音楽コンサートやダンス、アート体験など多彩な文化芸術活動も会場を彩ります。

また、参加団体とボランティアで構成される「まちカフェ!実行委員会」と町田市が共催し、市民が主体となって企画・運営されている点も大きな特徴です。

近年では150以上の団体が参加し、開催期間中の来場者は8,000人を超えます。誰もが気軽に参加できるこのイベントは、世代や分野を超えて人と人がつながる場であり、地域の課題や魅力を共有し、まちへの関心を高める貴重な機会となっています。

# section 09 計画の推進にあたって

## 1 | 庁内関係部署との連携・推進

文化芸術のまちづくりの推進にあたっては、観光や福祉、教育その他の各関連分野が、それぞれの知識やネットワークを活かしながらか断的に連携することができるよう、情報共有の場を設けます。

また、計画を進捗管理し、実行の旗振り役となる文化振興課がプロジェクトマネージャーとなって、市民や団体、企業や大学等との橋渡しを行い、各部門と調整し、文化芸術の輪を広げていきます。

## 2 | 施策・取組の振返りと評価

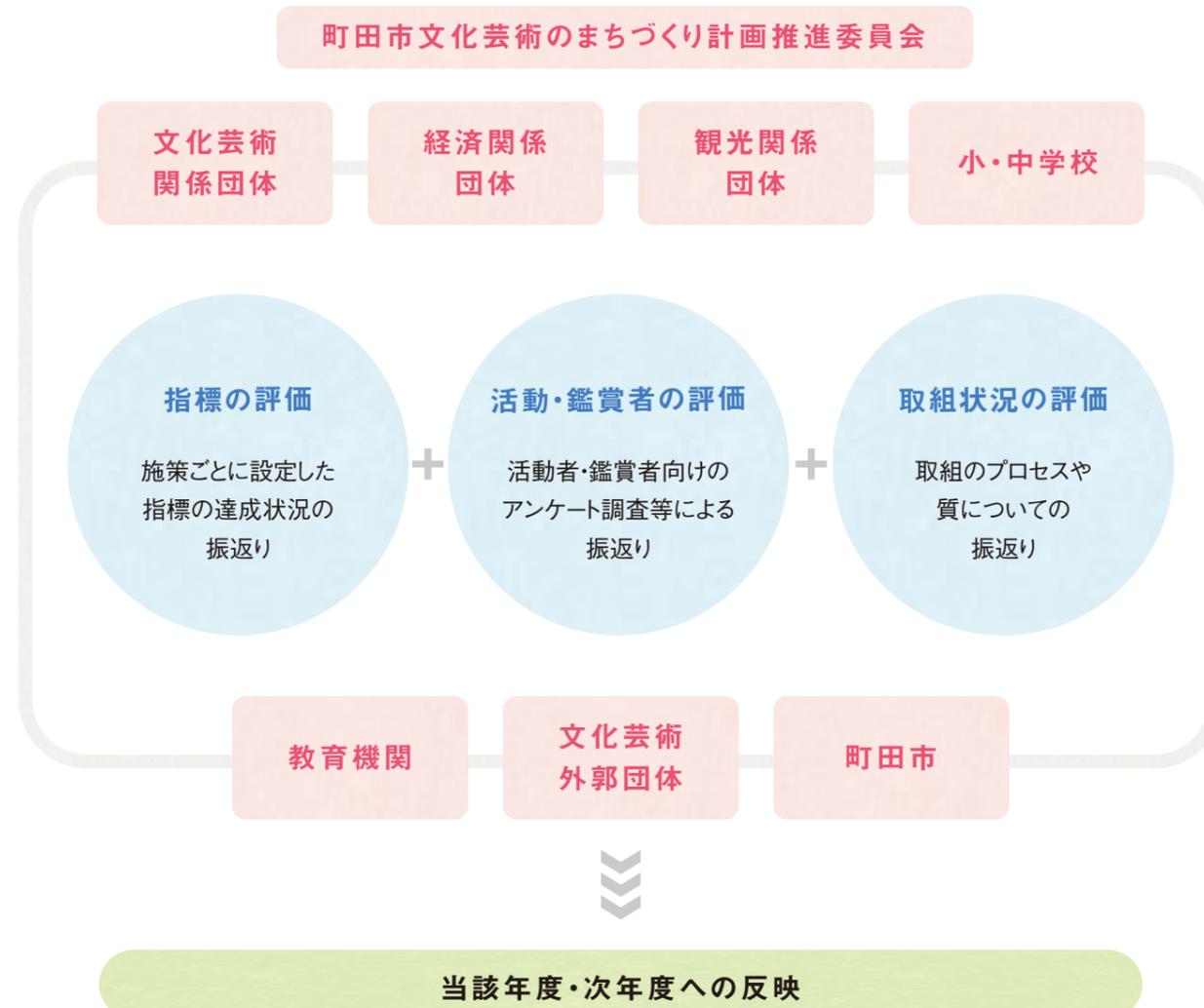
各関係主体の代表で構成される「町田市文化芸術のまちづくり計画推進委員会」を設置し、毎年度、文化芸術の現状や各主体の認識を共有します。あわせて、これまでの実績の振返りや評価を行い、その結果を当該年度および翌年度の取組に反映させることで、計画の着実な推進を図ります。

なお、施策・取組の振返りや評価にあたっては、

- ① 実施した取組等が方針ごとに設定した指標にどの程度影響を与えたか
- ② イベント等の活動者や鑑賞者(参加者)による評価はどのようなものであったか
- ③ 実施する取組等のプロセスやイベント等の質はどうであったか

など、現状の声やプロセス等を重視した評価を実施するとともに、各関係主体との連携を検討することで、地域一体となった文化芸術のまちづくりを推進します。

### 3つの観点からの総合評価による 施策・取組の推進



## 町田市文化芸術のまちづくり計画

2026年3月発行

発行者	町田市文化スポーツ振興部文化振興課 〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22 TEL：042-724-2184
刊行物番号	25-48
イラスト	中垣ゆたか
印刷者	株式会社サンニチ印刷

